

# 欧州政治経済の現地情勢

2023年12月5日

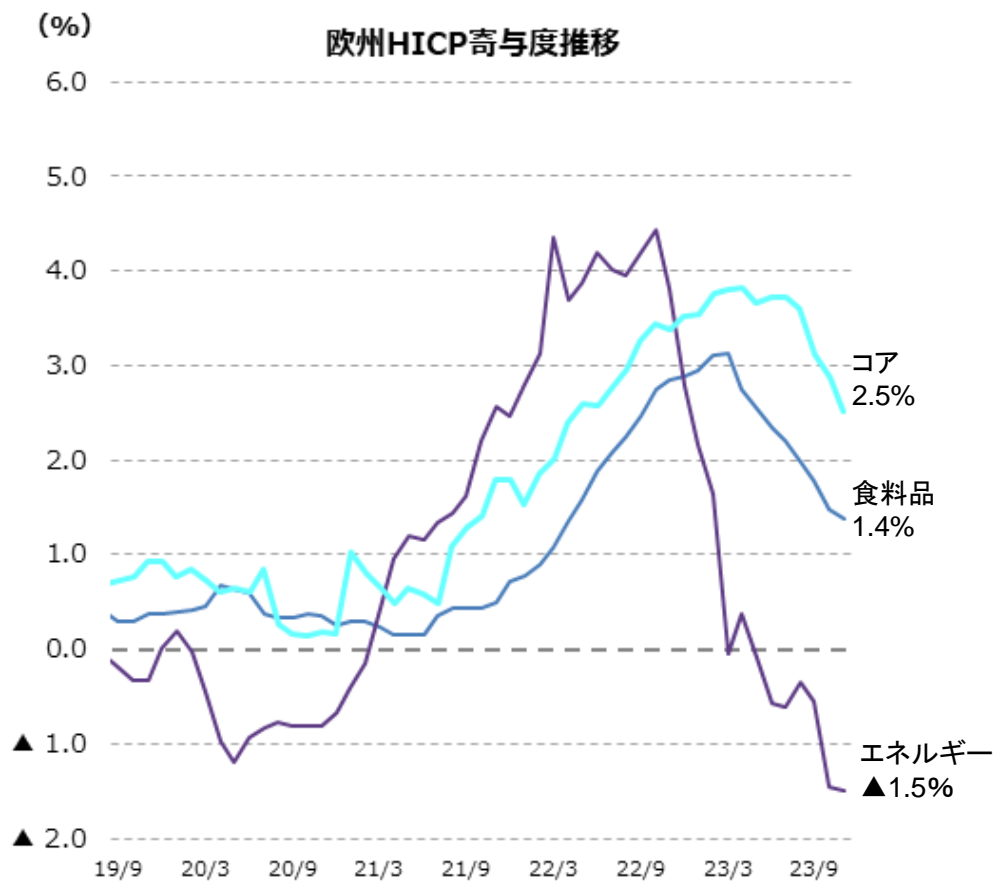
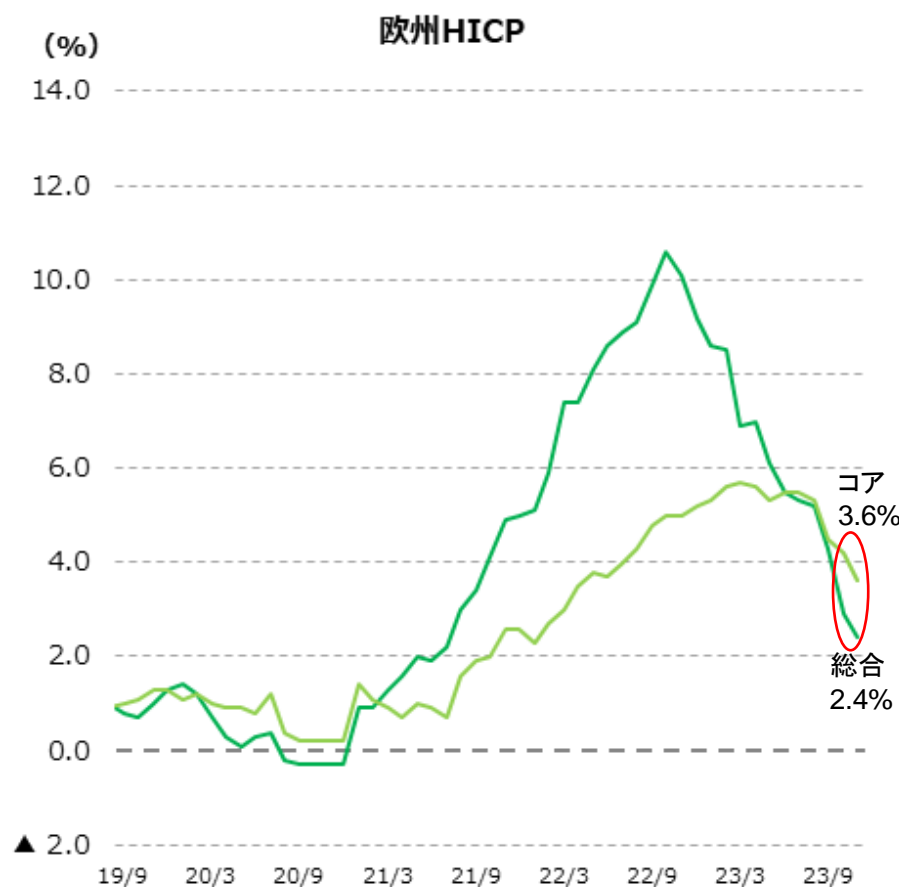


信金インターナショナル

# 足元のインフレ率



- ・インフレ率は、エネルギーの下落を背景に昨夏をピークに低下に転じる
- ・コアインフレでは、外食等を中心にサービスが高止まりし下落は急激ではない

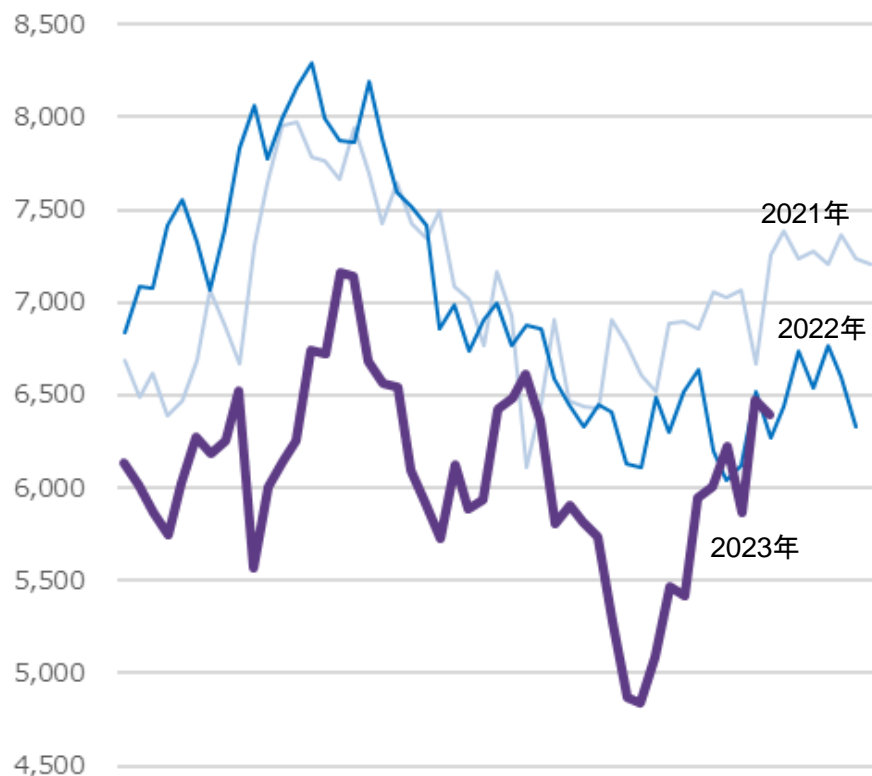


# エネルギー市場の動向

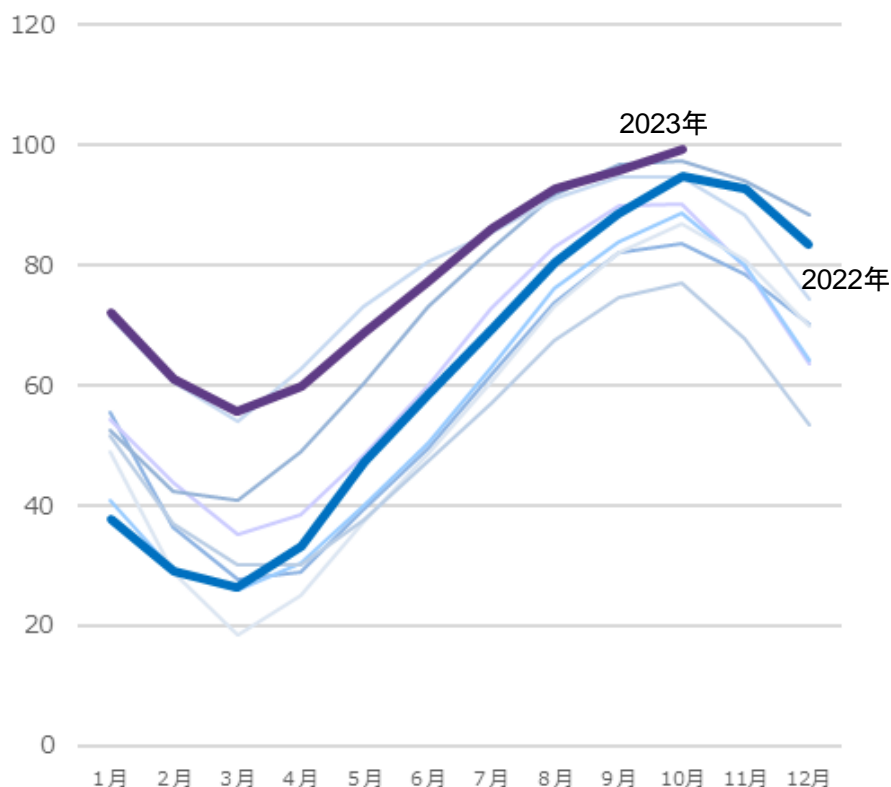


- ・ 欧州のガス輸入量は、ロシア以外からの輸入や再生エネ開発、節電で減少
- ・ 中東紛争による輸入量の急激な変化も特段観察されず
- ・ ガス貯蓄率は、過去最高ペースで推移

年度別週次欧州ガス輸入量推移

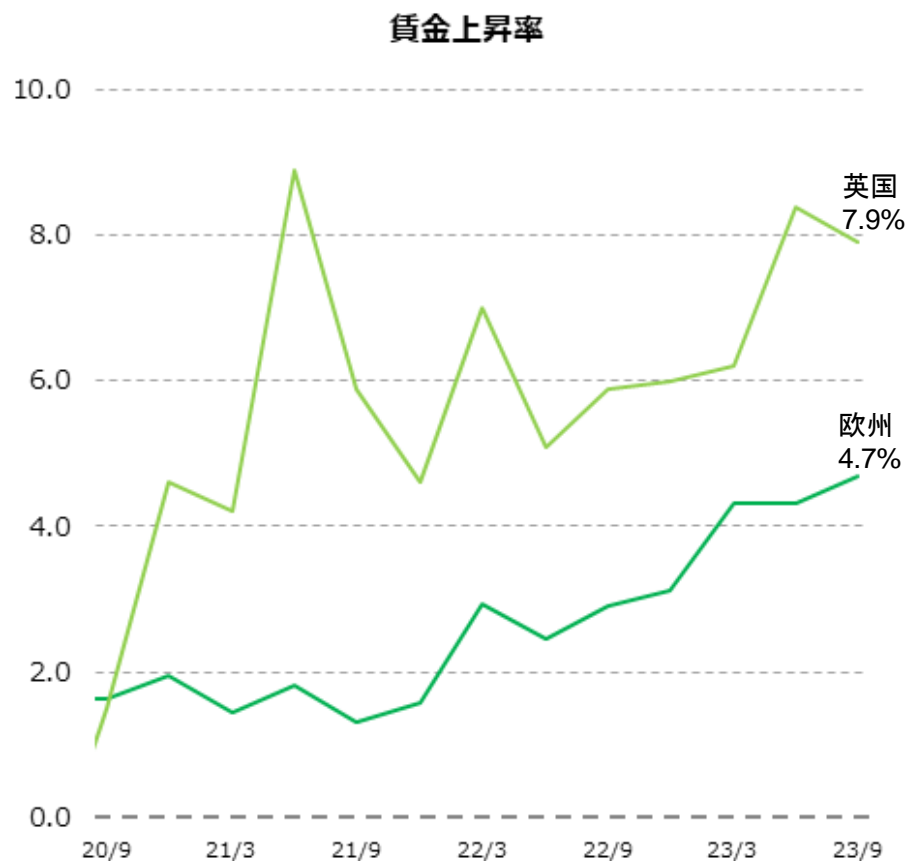
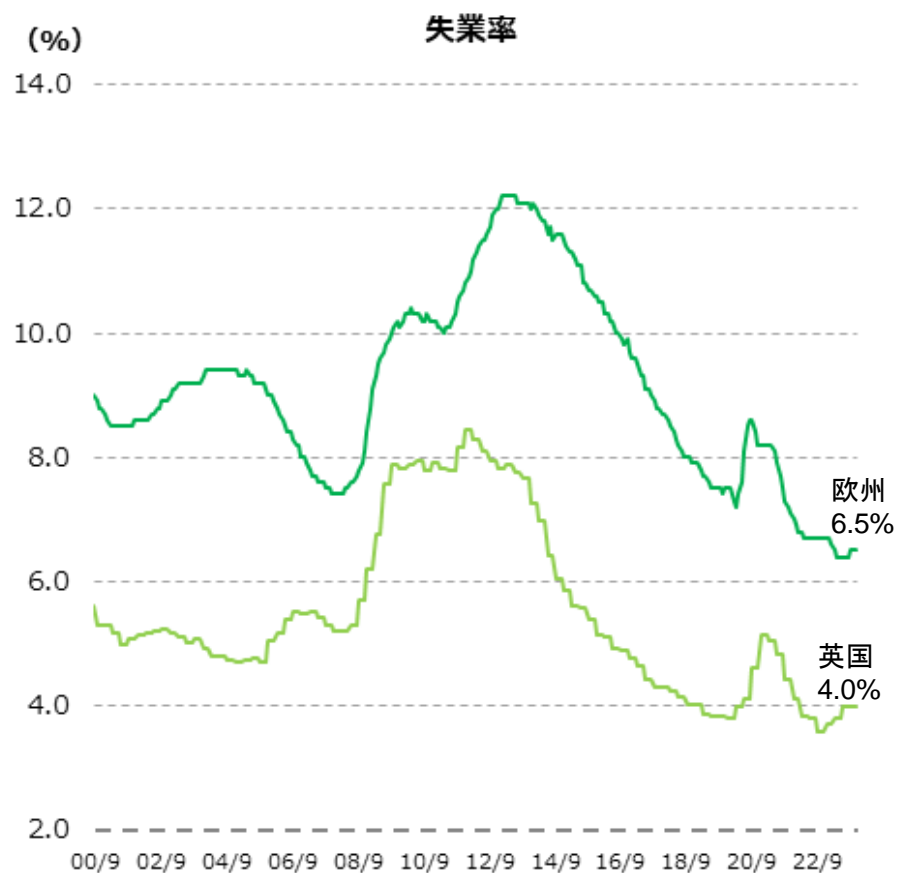


(%) 年度別欧州ガス貯蔵率推移





- ・ 景気後退懸念の中で、失業率は依然として歴史的低水準
- ・ ストライキの結果、賃金上昇率は右肩上がりで個人消費を下支え



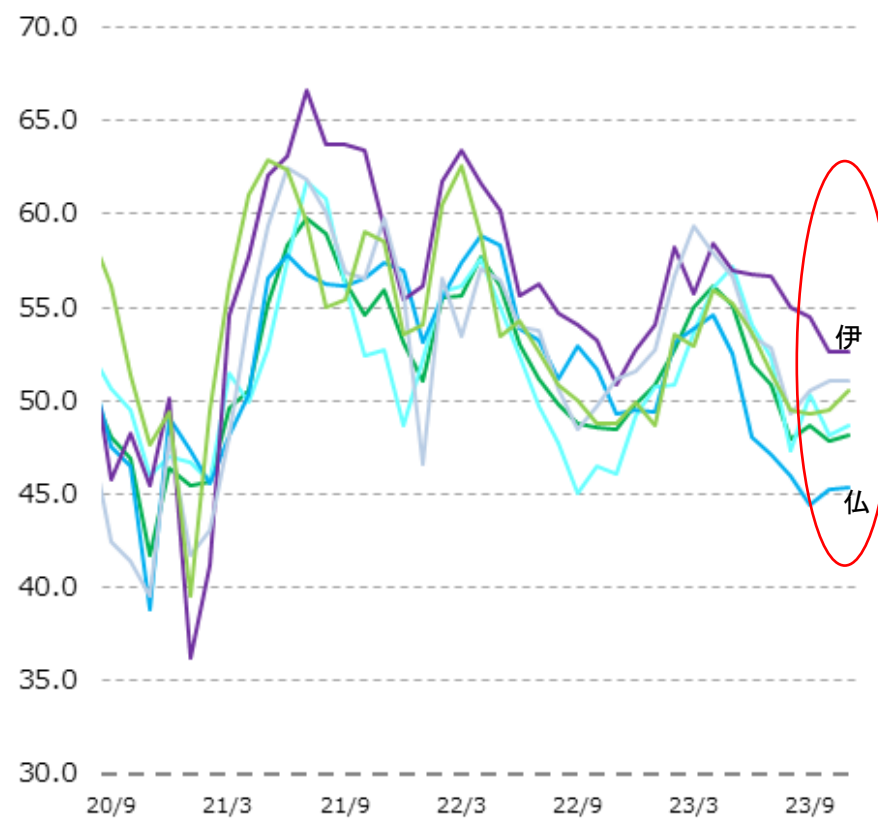
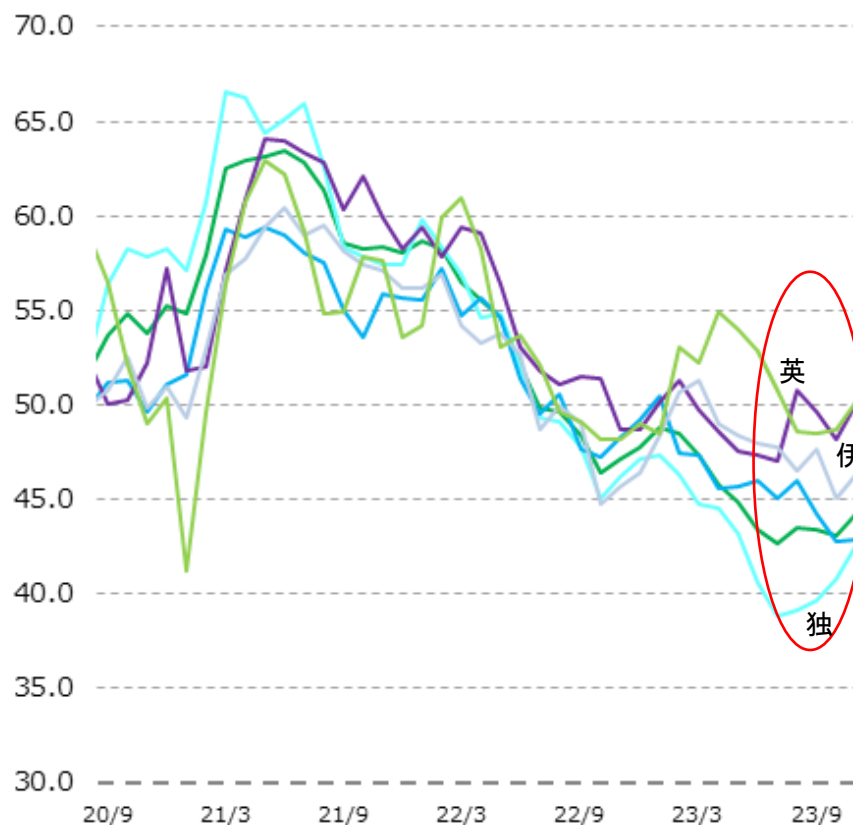
# 景気先行指標



- ・ 製造業PMI、サービス業PMIともに、下落基調に底打ち感が出てきた
- ・ サービス業PMIは大崩れしていない点も、ポジティブ

### 製造業PMI

### サービス業PMI

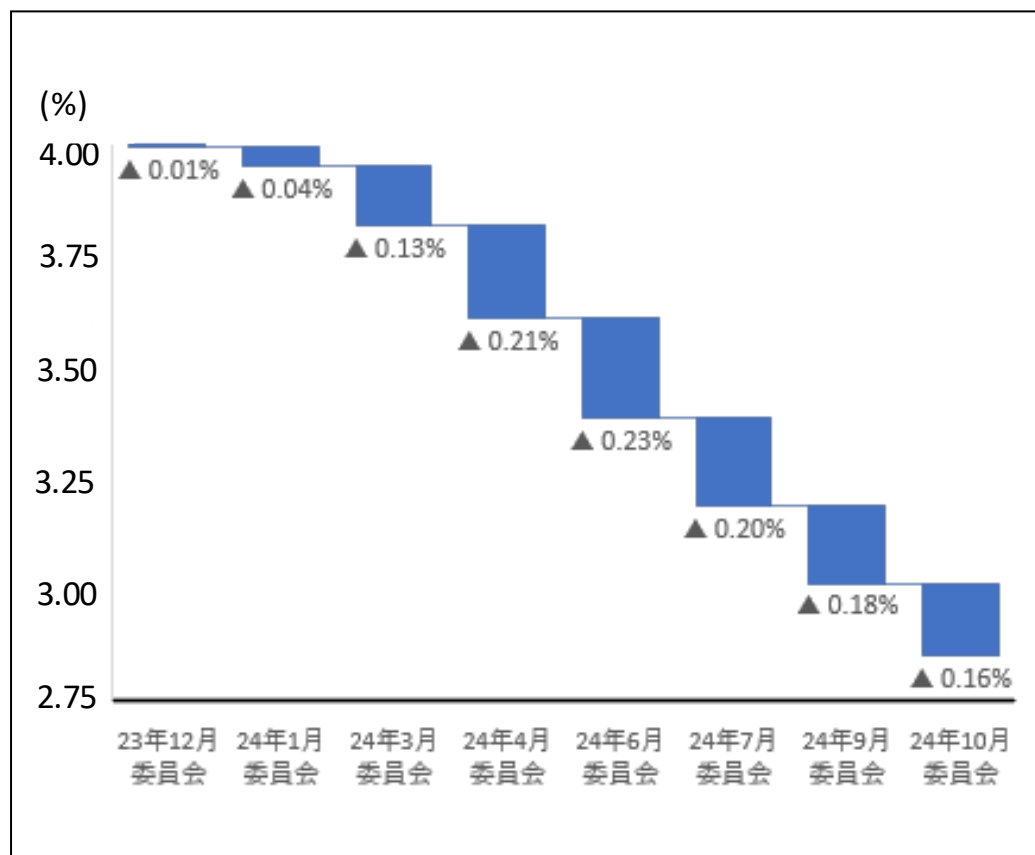


# ECBの利下げ見通し



- ・市場では、2024年中に1.25%の利下げが織り込まれている。
- ・しかしラガルド総裁らECB高官からは、利下げ議論に対する牽制発言が相次ぐ

市場でのECB利下げ織り込み状況



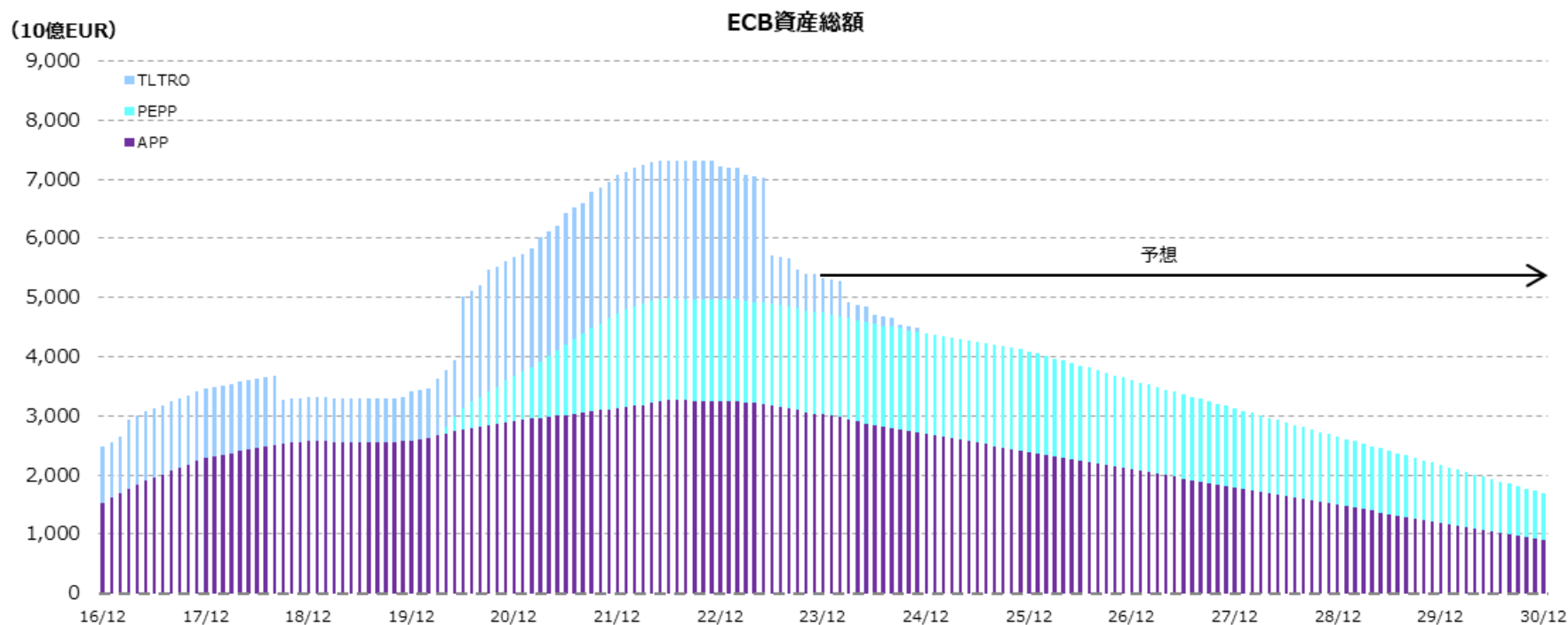
・ ECBがインフレに勝利したと宣言するのは時期尚早であり、2%のインフレ目標に戻るまで注意を払う必要がある(11/21)

・ 今後数か月のうちにインフレが再度上昇する可能性がある(11/27)

# 今後のECBバランスシート



- ・ 現状のペースでQTが進行すると仮定した場合、コロナ前の水準に達するのは、2027年頃の見込み
- ・ ECB高官からは、PEPP償還再投資見直しの議論を開始する発言が相次ぐ

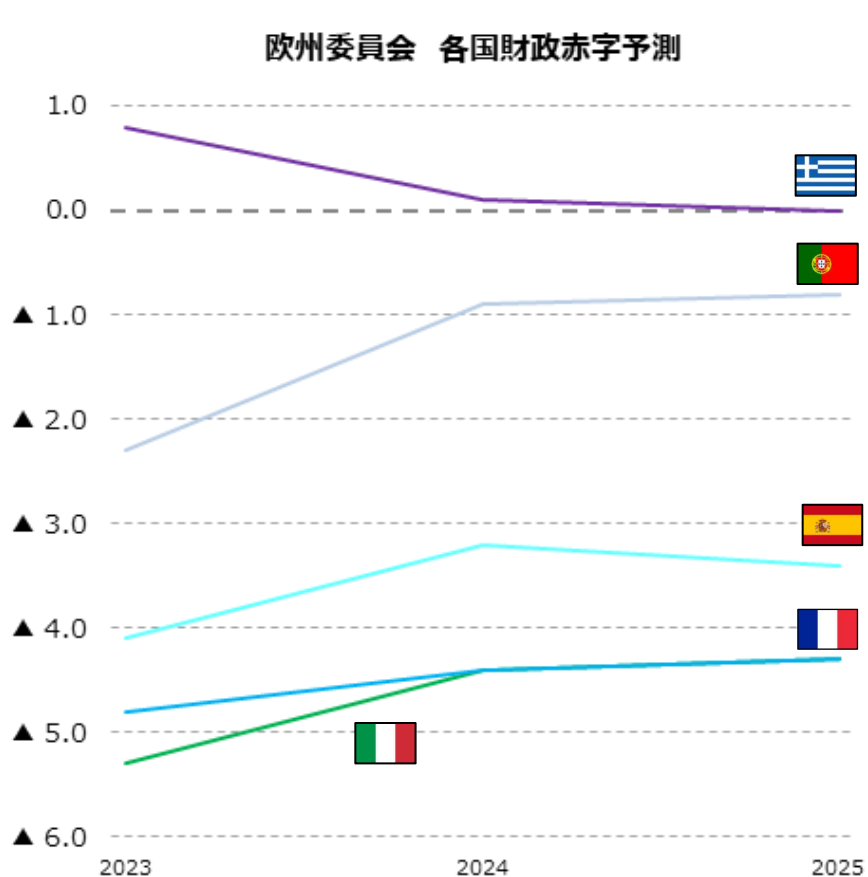


(APPは250億EUR/月償還、PEPPは2025年末から150億/月償還再停止見込)

# 欧州財政状況



- ・ イタリアの財政赤字は引き続き深刻
- ・ 格付は投資適格級スレスレを維持



	MDY	S&P	Fitch
AA+/Aa1			
AA/Aa2			
AA-/Aa3			
A+/A1			
A/A2			
A-/A3			
BBB+/Baa1			
BBB/Baa2			
BBB-/Baa3			
BB+/Ba1			
BB/Ba2			

## 現地のインフレ体感



- ・ ブラックフライデーを皮切りに、年末商戦開幕
- ・ 例年より値引幅、実施店舗ともに目立つ印象



欧 11月にも関わらず、はや半額セールを実施するクリスマスツリー（造木）の通販サイト



英 ブラックフライデーで、店内全品30%割引の表示（衣料品店）

## 現地の労働市場



- ・ 散発的ではあるが、引き続き賃上げを求めてストライキが欧州各国で実施
- ・ 昨年来実施されていたストライキは、10数%の賃上げで妥結するケースが多く、名目賃金上昇のドライバーに



英 12月もストライキを実施する鉄道社員



独 ストライキを実施する教員、警察官、消防士等の公務員

- ・ 各種イベントは引き続き盛況
- ・ 欧州経済の景気後退懸念は根強いものの、不況感を感じることは特にない



英 4万人が来訪して盛況のうちに閉幕した、日本文化紹介イベント（ジャパン祭り）



仏 多くの人で賑わうクリスマスマーケットの会場

# ウクライナ戦争



- ・ ウクライナ戦争は、南東部戦線で膠着状態
- ・ 欧米諸国の支援疲れ、厭戦気分から対露停戦協議打診との報道も

ウクライナ戦線状況



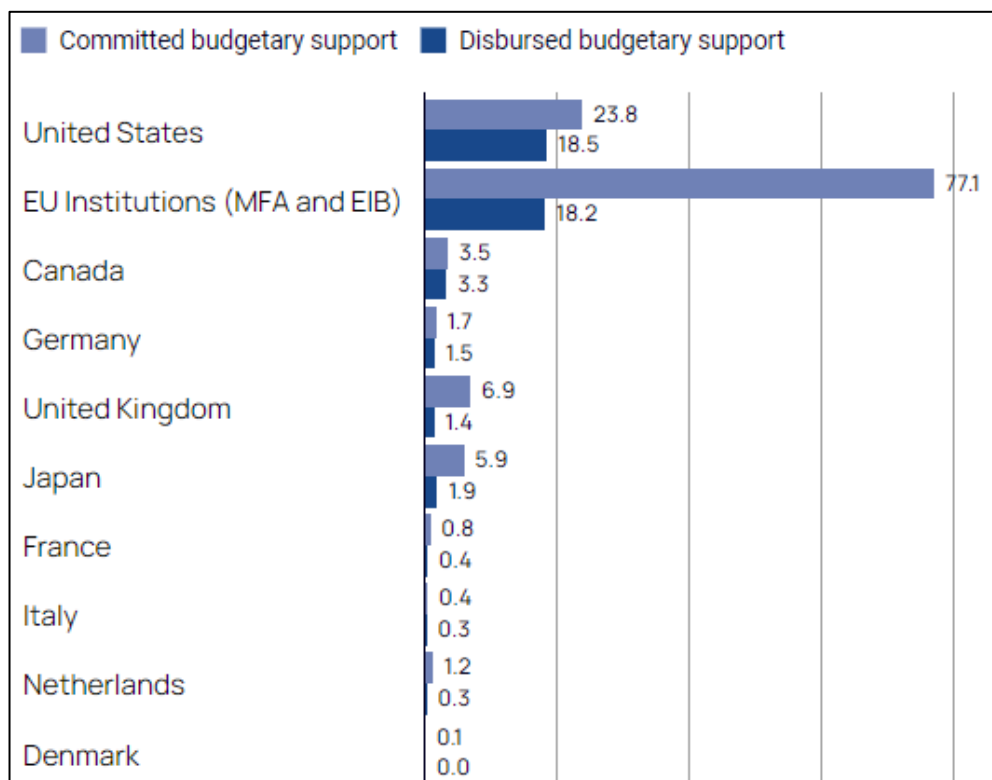
年月	内容
2022年2月	ロシアがウクライナ侵攻開始
2022年4月	ブチャでの虐殺が明らかに
2022年5月～11月	ウクライナが反転攻勢に転じ、南東部主要都市を奪還
2023年3月	岸田首相キーウ訪問
2023年6月	民間軍事会社ワグネルを率いるプリゴジン氏が武装蜂起、のち中断
2023年8月	ロシアが極東地域の軍事部隊をウクライナ戦線に投入する動き
2023年9月	ウクライナによる反転攻勢への遅れが指摘
2023年11月	欧米当局者がウクライナに対し、ロシアとの停戦協議を打診と報道
2024年3月 (見込み)	ロシア大統領選挙 ウクライナ大統領選挙

# ウクライナ戦争



- ・ 欧米諸国から支援表明は相次ぐものの、実際の履行までに相応の時間差
- ・ ウクライナ側でも汚職摘発が相次ぎ、ゼレンスキー大統領の求心力低下

世界各国の対ウクライナ支援表明額と履行額



年月	解任対象者
2023年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ティモシェンコ大統領府副長官 (人道支援用車両の私的利用)</li> <li>・ シャポワロフ国防次官 (軍事食料調達での汚職)</li> </ul>
2023年5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クニャゼフ最高裁長官 (収賄容疑)</li> </ul>
2023年8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各州徴兵事務所長 (徴兵逃れを巡る汚職)</li> </ul>
2023年9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロモイスキー新興財閥社長 (詐欺と資金洗浄)</li> <li>・ レズニコフ国防相 (軍事装備品や物資での汚職)</li> </ul>

# パレスチナ・イスラエル戦争



- ・ 欧州各国でパレスチナ支持者とイスラエル支持者双方による大規模デモが発生
- ・ 根源的な宗教的対立も絡み、緊張感が走る場面も



英 警察官と衝突するパレスチナ支持者のデモ

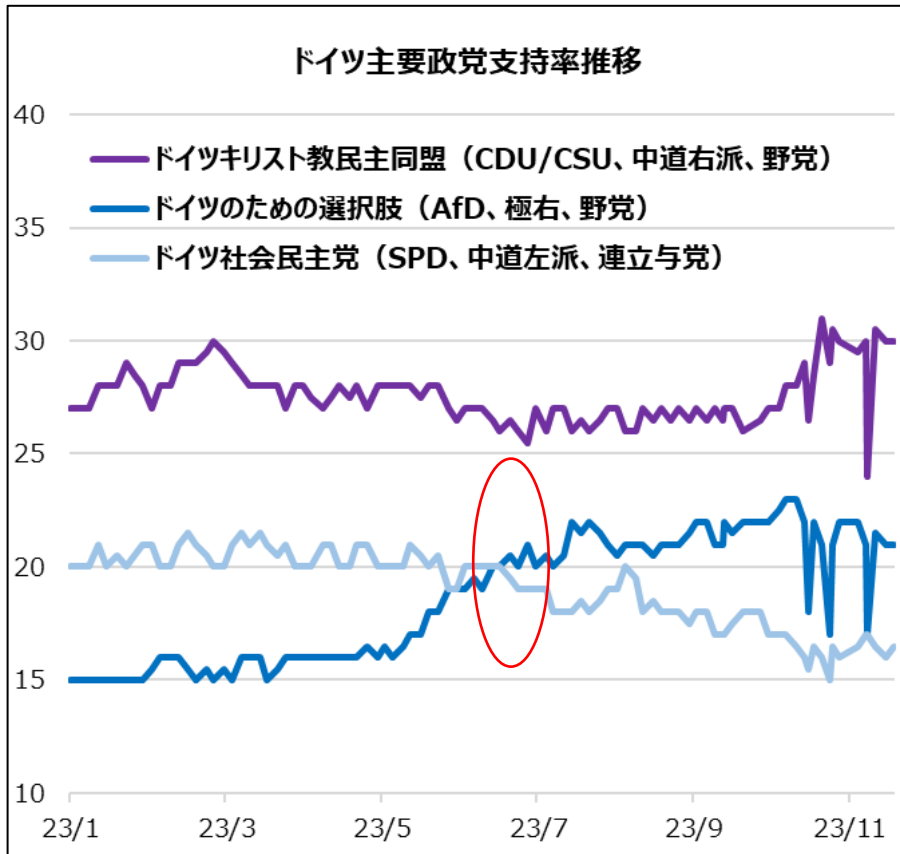


英 イスラエル支持者によるデモ



# ドイツ政治情勢

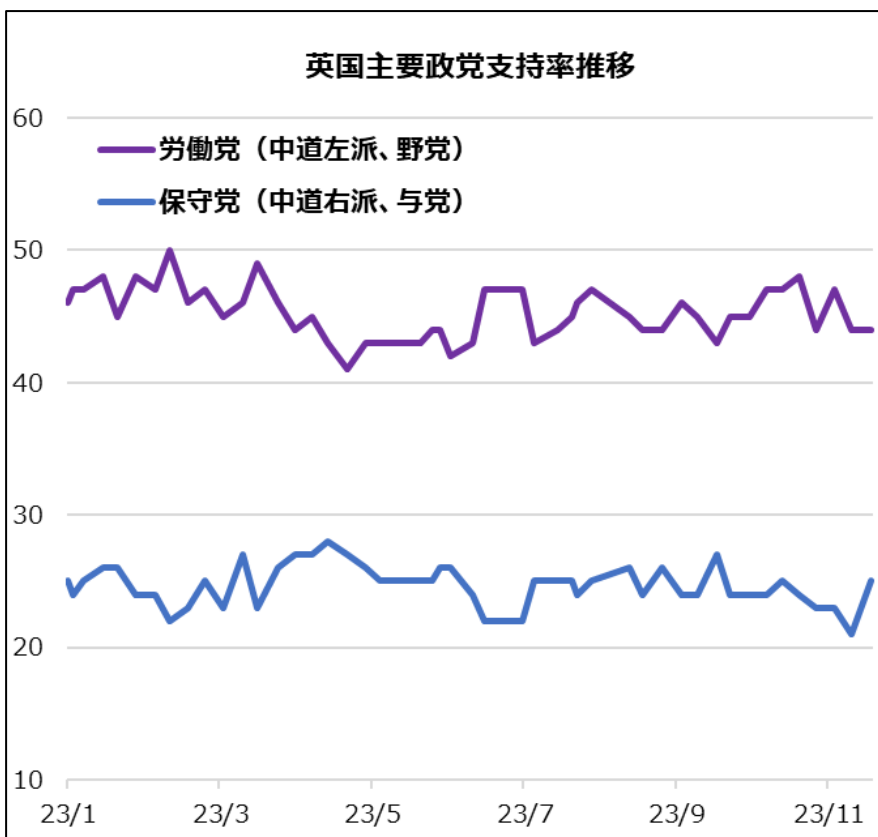
- ・ 経済成長が低迷する中、環境政策や予算を巡る混乱で与党支持率が低下
- ・ 極右政党の支持伸長が鮮明になる中で、来年州議会選挙を迎えることに



年月	内容
2021年12月	シュルツ連立政権発足
2023年6月	2024年1月から新設の暖房システムに再生可能利用エネルギーを義務付ける法案について、国民から反発を招く
2023年10月	バイエルン州議会選挙で与党惨敗 ヘッセン州議会選挙で与党惨敗
2023年11月	未執行のコロナ対策予算の流用について違憲判決 →新規財政支出を全面凍結した上で、財政赤字上限適用を一時停止
2024年9月 (予定)	ザクセン州議会選挙 ブランデンブルグ州議会選挙
2024年10月 (予定)	チューリンゲン州議会選挙



- ・ 規律ある財政政策や懸案の北アイルランド通商協定の見直し、ガソリン車の販売禁止延期等、現実路線に回帰するものの、国民からの支持は伸び悩み
- ・ 親中派のキャメロン元首相の外相起用、難民のルワンダ移送等、奇手による政権浮揚を目指す、次期総選挙での政権交代は不可避な情勢



年月	内容
2022年10月	スナク政権発足
2023年3月	北アイルランド通商ルール見直しでEUと合意
2023年4月	ラーブ副首相がパワハラ問題で辞任
2023年5月	地方選で与党が惨敗
2023年7月	下院補選で与党が惨敗
2023年9月	ガソリン車の販売禁止を延期
2023年10月	下院補選で与党が惨敗
2023年11月	内閣改造、キャメロン元首相を外相に難民のルワンダ移送に違憲判決
2025年1月 (予定)	英国下院総選挙

# その他欧州政治情勢



- ・ポーランドで反EU与党が敗北、親EU政権発足へ
- ・オランダでは極右政党が下院議会選挙勝利するものの、組閣には時間

ポーランド下院選挙結果

	政党名	政治主義	獲得議席
連立与党	市民プラットフォーム	中道右派・親EU	157
	農民党	中道右派	65
	新左派	左派	26
	法と正義	右派・反EU	194
	諸派政党	—	18
		合計	460

親EUの市民プラットフォームを中心とする連立政権樹立について三党間で合意

相次ぐスキャンダルやEU再接近を求める若年層の支持を失い、2015年10月以来続いた法と正義による反EU政権の交代は確実な情勢に

オランダ下院選挙結果

政党名	政治主義	獲得議席
自由党	極右・反EU	37
緑左派/労働党	左派・環境主義	25
自由民主国民党	中道右派	24
新社会契約	中道右派	20
諸派政党	—	44
	合計	150

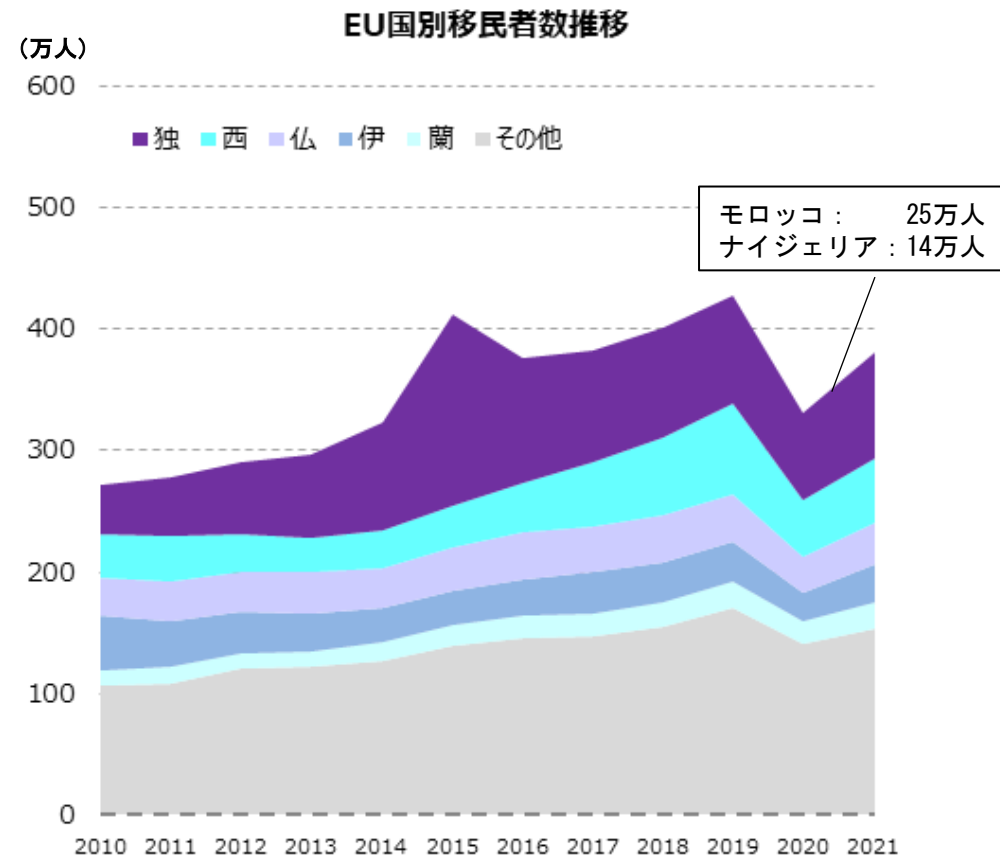
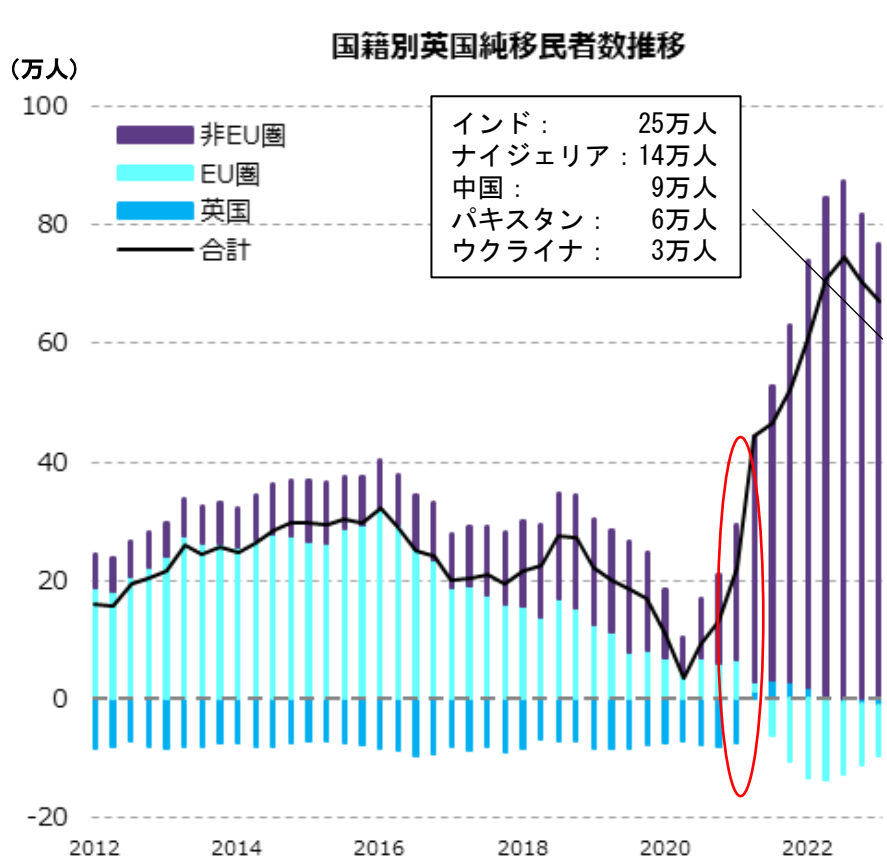
2023年7月の難民流入抑制策を巡る閣内対立から、13年続いたルッテ内閣が崩壊

反移民票を取り込んだ自由党が下院第一党に躍進するも、過半数には連立相手が必要であり、内閣樹立は難航が予想（下院の選挙制度が比例代表で多党化傾向）

# 欧州移民情勢



- ・ 英国への移民は、EU離脱後にアジア・アフリカ等非EU圏から急増
- ・ EUではドイツが一貫して最大の移民受入国、中東アフリカからの移民中心



## ご連絡先(日本語対応可)



### [ 営業担当 ]

- ・河合 千宏 (chihiro.kawai@shinkin.co.uk)
- ・溝上 智広 (tomohiro.mizoue@shinkin.co.uk)

### Shinkin International Ltd.

住所	: 1st Floor, 85 London Wall, London EC2M 7AD
ホームページ	: <a href="https://sil-uk.net">https://sil-uk.net</a>
電話	: +44(国番号) - 20-7562-0500(代表)
	: +44(国番号) - 20-7374-4633(営業直通)
FAX	: +44(国番号) - 20-7256-8544
Eメール	: <a href="mailto:information@shinkin.co.uk">information@shinkin.co.uk</a>

本資料は、信金インターナショナル(以下、「信金インター」と称します。)が、情報提供のみを目的として作成したものです。本資料に含まれる情報は、作成時点の公開情報および信金インターが信頼性が高いと考える情報源に基づいていますが、信金インターはその正確性または完全性について何ら表明または保証するものではありません。

本資料中の見解は信金インターの見解であり、変更される可能性があります。信金インターは、本資料中の見解または情報を更新する義務を負いません。信金インターおよびその関係会社ならびに各々の役員・従業員は、本資料またはその内容を使用したことにより直接的あるいは間接的に生じた損失について、いかなる責任も負いません。